

千葉県総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」の構成

第1章 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

「暮らし満足度日本一」を目指して進めてきた実績をベースとして、本県の持つ様々な宝・ポテンシャルを、より一層磨き上げ、千葉県を更に発展させていくため、「輝け！ちば元気プラン」を改定し、新たな総合計画を策定します。

2 計画の性格

県政全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画です。

3 計画の構成と期間

計画は、「基本構想編」と「実施計画編」で構成しています。

「基本構想編」では、10年後の千葉県の目指す姿と進むべき方向性を、基本目標を設けて具体的に明らかにしました。「実施計画編」では、平成25年度から平成28年度までの4年間で重点的に取り組む政策・施策を体系的に整理しました。

4 計画の特色

首都圏の広域ネットワークを形成するアクアラインと圏央道、機能拡充が進む成田空港、全国屈指の農林水産業、豊かな自然など、千葉県が持つ様々な宝・ポテンシャルに光を当て、それらを生かす計画とし、分野をまたがる課題については、横断的な連携の下、施策を統合し、相乗効果を高めるなど、総合的な取組としました。

また、県内各地域の持つ強みを生かした、地域ごとの今後の方向性を示しました。

第2章 千葉県が目指す姿

基本構想編

10年後の目指す姿と進むべき方向性

1 時代背景と課題

本県を取り巻く時代背景と課題を、次の8つの視点から整理しました。

- | | |
|------------------|--|
| (1) 人口減少・少子高齢化 | (2) 大規模災害等を見据えた防災・危機管理 |
| (3) 経済・社会のグローバル化 | (4) 安全・安心・治安 |
| (5) 環境保全・持続可能性 | (6) 地方自治 |
| (7) ICTの進展 | (8) 広域道路ネットワークの形成や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を踏まえた地域振興 |

2 基本理念

千葉は元気の発信源。首都圏、そして日本をリードし、県民が「暮らし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉を実現します。

3 目指す姿（基本目標）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| I 安全で豊かな暮らしの実現 | II 千葉の未来を担う子どもの育成 |
| III 経済の活性化と交流基盤の整備 | |

4 県づくりの方向性

- 県づくりの基本的な考え方
これまで整備を進めてきた拠点の効果を県内各地域に波及させることを目指します。
- 地域の方向性
地域の特性・可能性に着目して5つのゾーンを設定し、各ゾーンの強みを生かした今後の方向性を記載しています。

《特性・可能性を踏まえた5つのゾーン》

○東葛・湾岸ゾーン ○空港ゾーン ○香取・東総ゾーン ○圏央道ゾーン ○南房総ゾーン

県内にずっと住みたい県民の割合が、平成31年において85%を超えることを目指します。
(平成21年度 77.7%)

第3章 重点的な施策・取組

実施計画編

H25～28年度で重点的に取り組む施策

施策推進の基本的な考え方

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| (1) チームスピリットの発揮 | (2) 地方分権の推進 |
| (3) 市町村の自主性・自立性の向上と連携強化 | (4) 自治体間の広域的な連携 |
| (5) 男女共同参画の推進 | (6) ICT（情報通信技術）の利活用 |

I 安全で豊かな暮らしの実現

- 自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり
- 安全で安心して暮らせる社会づくり
- 健康で長生きできる社会づくり
- 豊かな心と身体を育てる社会づくり
- みんなで守り育てる環境づくり



暮らし満足度日本一



圏央道茂原北IC

II 千葉の未来を担う子どもの育成

- 子どもと子育て世代への強力サポート体制づくり
- 世界に通じ未来支える人づくり

III 経済の活性化と交流基盤の整備

- 千葉の輝く魅力づくり
- 挑戦し続ける産業づくり
- 豊かな生活を支える食と緑づくり
- 活力ある県土の基盤づくり

第4章 重点的な施策・取組の推進に当たって

- 総合計画の進行管理は、指標を掲げた施策・取組について、PDCAの政策評価の手法を活用したマネジメントサイクルに基づいて行います。具体的には、「重点的な施策・取組」について、「評価」を毎年度実施し、「改善」を次の施策展開に反映させることで、政策の推進を図ります。
- 「行政改革計画・財政健全化計画」を策定し、総合的な行財政改革に取り組んでいきます。

【指標一覧】（計画推進のための49の具体的な数値目標）



千葉県総合計画「新 輝け！ちば元気プラン」

「輝け！ちば元気プラン」の3年間の実績をベースとして、千葉県を更に発展させていくため、新たな総合計画を策定しました。今回の計画の特徴、主なポイントは、次のとおりです。

I 基本構想編(目標年度:平成31年度)

☆「くらし満足度日本一」を感じ、誇れる千葉の実現

引き続き、「くらし満足度日本一」を基本理念とし、本県の持つ様々なポテンシャルを、より一層磨き上げ、輝かせ、積極的に発信することで、千葉県の可能性を最大限に生かし、首都圏、そして日本をリードする「日本一の光り輝く千葉県」を目指します。

☆社会の変化への適切な対応

東日本大震災の発生、圏央道の整備進展による、アクアラインと一体となった広域道路ネットワークの形成など、「輝け！ちば元気プラン」策定後の、本県を取り巻く環境の変化を踏まえた記述を加え、社会の変化に適切に対応しながら、10年後の目指す姿の実現に向けて、本県が進むべき方向性を示しました。

☆地域の強みを生かして、地域とともに実現を目指す「地域の方向性」

地域の資源を最大限に活用した創意あふれる地域づくりを市町村、県民、企業など、地域の多様な主体とともに実現していくため、特性・可能性を踏まえた5つのゾーンを設定し、今後の地域の方向性を示しました。

《特性・可能性を踏まえた5つのゾーン》

○東葛・湾岸ゾーン ○空港ゾーン ○香取・東総ゾーン ○圏央道ゾーン ○南房総ゾーン

II 実施計画編(平成25年度から平成28年度)

☆4年間の重点的な取組

これまでの3年間の施策・取組の達成度や課題等を踏まえた上で、「くらし」「子ども」「経済」の3つの柱のもとで、防災・危機管理対策、少子高齢化への対応、成田空港やアクアライン・圏央道を生かした経済の活性化など、社会の変化や県民ニーズに対応するため、4年間に重点的に取り組む政策・施策を体系的に示しました。

☆着実な推進のための進行管理

計画に掲げた施策・取組の着実な推進のため、数値目標の設定と、政策評価の手法を活用した進行管理を行います。

安全で豊かなくらしの実現

【これまでの成果・課題】

- ◎災害に強い県づくり、防災意識の向上が必要
- ◎刑法犯認知件数が減少する一方、身近な犯罪は依然として高い水準で発生 等

- ★自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり
- ★コンビニ防犯ボックス等地域防犯力の向上 等

千葉の未来を担う子どもの育成

【これまでの成果・課題】

- ◎保育所定員の大幅増加、子ども医療費拡充
- ◎少子化傾向の継続、子育てへの不安増加 等

- ★保育所整備の一層の促進、保育士確保の推進
- ★親への育児支援と地域による子育て支援 等

経済の活性化と交流基盤の整備

【これまでの成果・課題】

- ◎アクアラインの通行量の増加、圏央道の整備
- ◎成田空港発着枠30万回化の地元合意 等

- ★交流機能の拡充を生かした経済の活性化
- ★全国・海外への一層の魅力発信 等

第3章 重点的な施策・取組【実施計画編】 施策・取組の例

| 基本目標 | 政策分野 | 施策・取組の例 |
|----------------|--------------------------|--|
| 安全で豊かな暮らしの実現 | 1 自助・共助・公助が連携した防災先進県づくり | 「自助・共助・公助」の連携による地域防災力の向上を図るほか、東日本大震災からの復旧・復興、新型インフルエンザ対策など様々な危機に対応できる体制整備を推進します。 (仮称)防災基本条例の制定(P49) 防災教育の推進(P49) 河川・海岸等の社会資本の整備(P52) |
| | 2 安全で安心して暮らせる社会づくり | 振り込め詐欺やひったくりなど県民の身近で発生する犯罪の防止、交通事故の防止に取り組みます。 コンビニ防犯ボックス設置等モデル事業の推進(P60) 幼児・小中高校生の発達段階に応じた交通安全教育(P66) 子どもたちの通学路の安全対策の推進(P67) |
| | 3 健康で長生きできる社会づくり | 県民が安心して良質な医療を受けることができ、高齢者や障害のある人が住み慣れた地域で暮らせる社会を目指して、医療・福祉の人材確保や在宅福祉サービスの基盤整備などに取り組みます。 医学生、看護学生への修学資金の貸与(P73) 看護師等養成所の支援(P73) がんセンターの施設整備(P75) 特別養護老人ホームの整備促進(P79) |
| | 4 豊かな心と身体を育てる社会づくり | 文化芸術活動の支援や、文化にふれ親しむ環境づくりを進めるとともに、「する・みる・ささえる」スポーツの推進に取り組みます。 県民の自主的な文化芸術活動の促進(P89) 「ちばアクアラインマラソン」等の大規模大会の企画・運営(P92) |
| | 5 みんなで守り育てる環境づくり | 豊かで美しい千葉の自然を子どもたちに引き継ぐとともに、資源循環型社会の構築を目指します。 市町村・県民などによる再生可能エネルギー・省エネルギー設備導入の支援(P94) ちばエコスタイルの多様な3R行動の提案(P97) |
| 子ども・若者の未来を担う | 1 子どもと子育て世代への強力サポート体制づくり | 子育て世代が安心して育児ができる環境を整備し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を支援します。 民間保育所の整備促進(P109) 子ども医療費の助成(P107) 放課後児童クラブの運営と施設整備への助成(P109) 保育士の処遇改善や雇用促進等の保育士確保対策の推進(P109) |
| | 2 世界に通じ未来を支える人づくり | 自らの生き方を考え、高い志を持ち、世界で活躍できる真の国際人を育てるとともに、「教育立県ちば」の土台をつくります。 「千葉県教育に関する有識者会議」の設置(P110) 発達段階に応じた道徳教育の充実(P114) データに基づく学力向上策の実施(P110) |
| 経済の活性化と交流基盤の整備 | 1 千葉の輝く魅力づくり | 成田空港と東京湾アクアライン・圏央道を活用した県経済の活性化を図るとともに、本県の持つ魅力を十分に生かした魅力的な観光地づくりを推進します。 成田空港活用協議会への参画による県内観光・産業の振興(P128) 茂原にいはる・袖ヶ浦椎の森工業団地など、企業の立地環境の整備(P131) 観光客のリピーター化や宿泊型観光の推進とサイクルツーリズムなどの新たな魅力の創出(P133) |
| | 2 挑戦し続ける産業づくり | 千葉の未来を支える産業の振興や中小企業の経営基盤の強化、地域づくり・まちづくりと連携した地域産業の活性化を推進します。 健康・医療・環境・エネルギー等の成長産業の育成・振興(P137) 千葉県経済をけん引する京葉臨海コンビナートの競争力強化に向けた支援(P137) 農商工連携や地域資源活用等の事業の総合的な支援(P142) |
| | 3 豊かな生活を支える食と緑づくり | 力強い農林水産業の確立により、「農林水産王国・千葉」の復活を目指すとともに、農林漁村の活性化を図ります。 公益社団法人千葉県園芸協会を核とした「オール千葉」体制の構築による力強い産地づくり(P148) 農林水産物を活用した6次産業化・農商工連携の推進(P149) 「千葉ブランド」農林水産物の輸出拡大(P125、149) |
| | 4 活力ある県土の基盤づくり | 鉄道網、道路網、港湾を整備し、利便性の向上を図り、交流を活発にするとともに、安全に安心して快適に暮らすことができる住まい・まちづくりを進めます。 圏央道、外環道、北千葉道路など高規格幹線道路等の整備促進(P157) つくばエクスプレス沿線など土地区画整理事業の推進(P163) |

特性・可能性を踏まえた5つのゾーン ＜ゾーンごとの方向性＞

趣旨

地域の個性を踏まえた「暮らし満足度日本一」の実現に向けて、県として各地域をどのようにとらえ、また、今後どのように可能性をひろげていきたいかという、各地域に対する方向性（ビジョン）を示すもの。

地域区分（ゾーン設定）の考え方

地域振興事務所の単位を基本として、共通の特性を持つ地域や日常生活でのつながりを把握した上で、地理的条件、交通基盤の整備状況等を勘案して地域区分を設定。

今後は、発着枠30万回化の地元合意を受けた「成田空港の機能拡充」と「圏央道木更津・東金間の開通」を起爆剤として、県経済の活性化や地域振興に取り組むことが強く求められることから、地域区分の設定においても、こうした方向性を特徴的に表現し、県が目指す地域づくりの考えをわかりやすく提示。

東葛・湾岸ゾーン

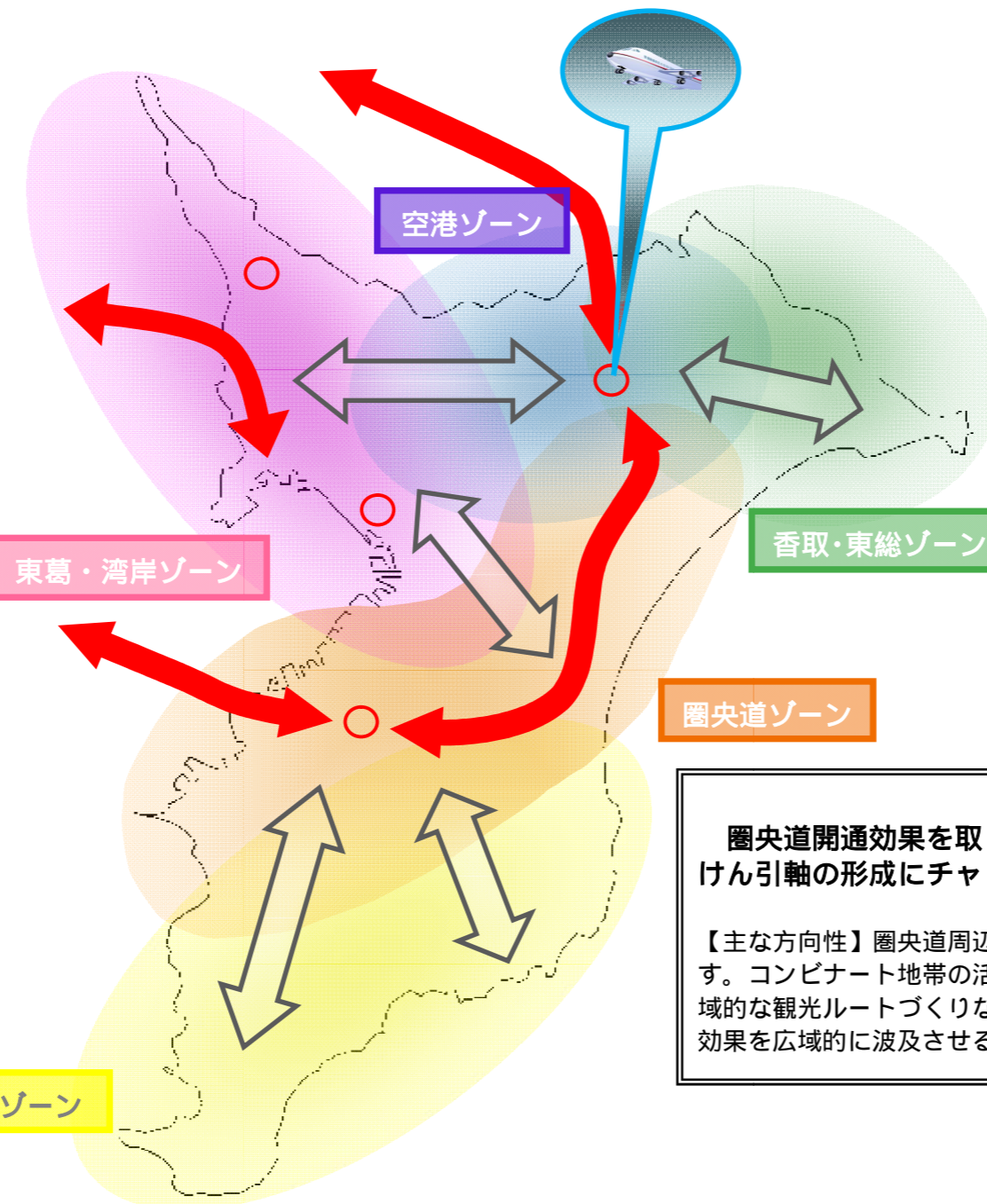
うるおいとやすらぎの都市空間の中で様々な世代が生き生きと活動する、創造と再生のまちづくりにチャレンジするゾーン

【主な方向性】産業競争力を強化するため、ベンチャー企業の育成や研究開発支援等に取り組む。働く世代の流出を防ぐため、優れた居住環境をアピールしていく。高齢社会における優れた地域経済システムのモデル構築を目指す。

南房総ゾーン

海と緑のやすらぎの空間の中で、充実した多様なライフスタイルの提供にチャレンジするゾーン

【主な方向性】農林水産資源を活用したグリーン・ブルーツーリズムや、新たな地域特産物の開発、農林水産業の担い手の育成などを推進する。アクアラインや圏央道からのアクセス強化を図る。



空港ゾーン

成田空港の機能拡充による効果を受け止め、国内外の活力を呼び込み、県経済の活性化にチャレンジするゾーン

【主な方向性】道路網整備の進展を図るとともに、空港機能を活用した地域振興に取り組む。農林水産物等の海外輸出を含めた販路拡大等による競争力の強化を図る。観光資源の広域的連携などにより、国内外からの観光客等を県内各地へ誘導させる役割を担う。

香取・東総ゾーン

食料の生産拠点としての機能強化を図るとともに、北関東・東北方面や成田空港への近接性を生かした新たな発展可能性にチャレンジするゾーン

【主な方向性】農林水産物のブランド化や経営の大規模化等により食料の生産拠点としての機能強化に取り組む。圏央道からのアクセス道路等の整備を進め、東北方面や成田空港との交流・連携機能の強化による地域振興を目指す。

圏央道ゾーン

圏央道開通効果を取り込み、多彩な産業展開により本県経済のけん引軸の形成にチャレンジするゾーン

【主な方向性】圏央道周辺への産業の受け皿づくりや幅広い企業立地を促す。コンビナート地帯の活性化に取り組む。道路ネットワークの充実や広域的な観光ルートづくりなど地域内の資源の有機的な連携を促し、圏央道効果を広域的に波及させる。